

安全衛生推進活動の行き詰まりに“喝” 地域共同安全衛生モデル活動

(東京スーパーエコタウン協議会 10社での企業間連携活動紹介)

株式会社タケエイ・東京リサイクルセンター
(東京スーパーエコタウン協議会)
業界・業種：産業廃棄物処理業
従業員規模：65名
地 域：東京都

背景(課題・ニーズ)

これまでの安全衛生推進活動は、個社、事業所ごと又は企業グループで取り組むことが多く、事業規模の度合いが小さいほど行き詰まり感が拭えなかった。私たち資源循環企業の事業所は、生活環境アセスメントや都市計画法の都合、同じ地域に立地が集中する傾向がある。そこで、企業や事業特性といった垣根を越え、地域の協会員が共同で安全衛生推進活動に取り組むことで、新たな気付きや相互扶助を育み、安全衛生推進活動の活性化を図るトライアル

プロジェクト内容

東京湾臨海部に事業所を置く協会員（東京都大田区城南島3丁目、江東区海の森2丁目）10社12事業所による安全衛生推進活動他の取り組み

2024.10.16 東京防災学習セミナー共同受講



2025.02.18 取組事例相互紹介



2025.02.18 相互視察+安全パトロール



やってみての効果

他社の取り組みに実際に触れることにより、Goodポイントを積極的に取り入れ、幾つかの業務改善に繋がっている。また、参加スタッフの視野が個社から「地域の取り組み」へと広がったことにより、地域共生型の活動がより包括的なものに発展した。

今後の目標・展望

廃棄物処理業における労働災害発生状況は、全産業中ワーストに位置している。この状況を少しでも打開すべく、協会と歩調を合わせ、モデル事業として協会員の模範となる活動に昇華させていきたい。手始めに、地域でゼロ災日数、度数率、強度率の「見える化」に取り組む